

第11回沼津市議会定例会

一 般 質 問

* 一般質問は、「一括質問一括答弁方式」、「一問一答方式（一問一答及び複合）」により実施します。

- ・「一括質問一括答弁方式」：通告した全ての質問を1回目に行い、答弁に対する再質問として2回目及び3回目の質問を行う。
- ・「一問一答」：通告に沿って1回目から、全で一問一答により質問を行う。
- ・「複合」：1回目は一括質問一括答弁方式で行い、2回目以降から一問一答に切り替えて行う。

令和7年12月1日、2日、3日

令和7年12月1日（月）午前10時から			
順番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1	5 番 佐 藤 健 一 郎 *一括方式	1 災害時の生活用水の確保に関する取組 (1) 生活用水確保に対する認識 (2) 生活用水を確保するための災害用井戸登録制度に対する認識 (3) 生活用水の確保に向けた市の取組 (4) 地域で地下水を利用する上での課題と進め方 2 地域学校協働本部及びコミュニティ・スクールの取組 (1) 地域学校協働本部 ① 現状の進め方 ② 支援 ③ スキルアップ (2) コミュニティ・スクールの導入後の学校教育に対する効果	市 長 教 育 長 関 係 部 長

順 番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
2	6 番 大 草 満 *一括方式	1 本市における教職員の働き方改革について (1) 公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法の改正及び関連法等に関する取組 ① 教職員の勤務時間の把握方法及び月平均時間外勤務時間数と推移 ② 教職員の負担軽減策と健康確保措置 ③ 管理職や教職員からの意見の把握と反映 (2) 教育の質の確保 ① 教職員の負担軽減による教育の質の確保 2 自治会活動のデジタル化について (1) 自治会活動のデジタル化に向けた本市の方針及び状況と課題 ① 市の方針 ② 進捗状況 ③ 推進する上での課題 ④ 地域ごとのニーズや特性 (2) 自治会活動のデジタル化推進策 ① 自治会活動のデジタル化を進めるための支援策 ② デジタルに不慣れな方へのデジタルアクセスを確保するための支援策	市 長 教 育 長 関 係 部 長
3	21番 深 田 昇 *一括方式	1 放課後児童クラブについて (1) クラブ運営と利用ルール ① 弾力的な受入れの運用状況 ② 合同開所や休所の判断と実績 ③ 休会制度の廃止と影響 ④ クラブ間の行き来の制限と理由 (2) 人員体制と支援の仕組み ① 支援員等の体制と運営状況 ア 継続雇用 イ 賃金 ウ 研修 エ 情報共有と声の収集 オ 近隣市町からの派遣連携 ② 特別な支援を要する児童の受入れと対応 ア 判断基準と協議の流れ イ 対応する支援員の資格・研修 (3) クラブの運営内容と保護者対応 ① 延長された開所時間の利用状況 ア 平日の延長時間帯の利用状況 イ 長期休みの前倒し開所の利用状況 ウ 土曜日開所の利用状況	市 長 関 係 部 長

順 番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
		② 仕様書や事業者提案に基づく活動 ア 仕様書に示された活動 イ 事業者提案の活動 ③ 保護者からの声の収集と対応 ア 収集の状況 イ 事業者対応と市の確認の仕組み ウ 運営改善への反映 (4) 市による確認と改善の仕組み ① 運営状況の確認方法 ② 問題発生時の対応 ③ 報告書の取扱い ④ 改善に向けた取組 2 老人福祉法第13条に規定される「老人の福祉を増進することを目的とする事業」について (1) 老人クラブ ① 連合会加入の老人クラブ ア 支部数・クラブ数・会員数 イ 運営費補助 ウ クラブの維持や拡大に向けた取組 ② 連合会未加入の老人クラブ ア クラブ数と会員数 イ 運営費補助 (2) その他当該事業を行う者 ① 団体数と人数 ② 運営費補助	

令和7年12月1日（月）午後から			
順番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
4	23番 渡 部 一 二 実 *一括方式	1 本市における防災・減災対策、復旧対策等の質的向上について (1) 36時間先を見据えた洪水予測が可能なWater Visionの導入について ① 本市の水災害における住民避難を促すタイミングの運用状況 ② 高齢者等避難、避難指示等が伝わりにくい夜間及び深夜時間帯における対応策 ③ 36時間先までの洪水予測が可能なWater Vision導入の可能性 (2) 水を98%再利用可能なWOTA BOX/WOTA WOSHの導入について ① 本市における過去の大規模災害時の断水発生状況 ② 断水時の飲料水の確保策 ③ 断水時の入浴環境をはじめとする生活水の確保策 ④ 水を98%再利用可能なWOTA BOX/WOTA WOSH導入の可能性 (3) 災害級の猛暑・酷暑対策として有効な放射冷却素材（SPACE COOL等）の標準装備化について ① 近年、顕著となった酷暑に伴う公共施設のトラブル発生状況 ② 酷暑下における公共施設の空調設備の冷却性能低下 ③ 酷暑下における公共施設の受変電施設の効率低下 ④ 放射冷却素材（SPACE COOL等）の標準装備化の可能性	市 長 関 係 部 長
5	28番 浅 原 和 美 *一括方式	1 市長の政治姿勢について (1) 頼重市政2期目の自己評価と課題認識 (2) 今後の市政運営に対する考え	市 長
6	26番 高 橋 達 也 *一括方式	1 鉄道高架完成に向けた沼津駅周辺のまちづくりにについて (1) 鉄道高架事業の進捗に合わせた周辺街区形成の具体的計画 (2) 鉄道高架事業の「完成までを見通したロードマップ」の作成と市民への説明 (3) 鉄道高架完成後を見据えた「まちのランドデザイン」の市民への提示と合意形成	市 長 関 係 部 長

順 番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
7	25番 渡 邊 博 夫 *一括方式	1 市民サービスにおける効率的な行政運営を目指す人事管理について (1) 職員配置の最適化と業務効率化の取組 ① 人口減少や財政制約の中での適正な定員管理の考え方と具体策 ② A I ・ D X導入による事務効率化と人員再配置の認識と課題 ③ 庁内組織の見直しと職員配置の最適化 (2) 職員の能力開発とモチベーション向上 ① 若手・中堅職員の人材育成方針と研修体系の成果 ② テレワーク・フレックスタイム等の柔軟な勤務制度の現状認識 ③ 職員の意欲を引き出す評価・登用制度の改善 (3) 市民サービスと行政効率の両立に向けた取組 ① 市民ニーズを考慮した人事配置と業務改善の取組 ② 窓口業務・デジタル化・アウトソーシングのバランスと具体策 2 水道事業の経営健全化と持続可能な事業経営について (1) 水道事業の健全経営と経営課題 ① 料金改定を踏まえた水道事業経営の現状と今後の見通し ② 将来にわたり持続可能な事業経営のための施策 (2) 水道施設の老朽化対策と整備方針 ① 水道施設における現状と課題 ② 今後の整備方針 (3) 災害・気候変動等のリスクへの対応 ① 災害時における応急給水・応急復旧体制 ② 日本水道協会中部地方支部合同防災訓練の成果を踏まえた水道の防災対策 ③ 水道法改正に伴う良質な水質確保への対応	市長 関係部長

順番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
8	24番 加 藤 明 子 *一括方式	1 自治会組織の在り方と持続可能な地域運営について (1) 自治会組織の担い手不足について ① 現状の認識 ② 自治会の加入率低下や脱退者の要因 (2) 行政委嘱委員等の活動について ① 各種委員の会議等の出席率や活動の実態把握 ② 課題や委員の見直し (3) 自治会長の負担軽減について ① 現状の認識 ② 事務負担軽減の取組と課題 ③ 事務のデジタル化による進捗状況と課題 ④ デジタル化の事務効率を踏まえた根本的な課題解決に向けた取組 (4) 自治会組織の持続可能な運営の取組について ① 若年層の参加促進や世代交代の取組状況と課題 ② 加入促進に向けた広報・啓発の現状評価 ③ 担い手確保の支援策や仕組み改善の方針 ④ 持続可能な地域運営の長期方針に関する認識 2 民生委員・児童委員の体制強化及び処遇改善について (1) 現状の課題把握について ① 現状把握 ② 課題分析及び改善目標の設定 (2) 人材確保策について ① 新たな担い手確保の体制整備 ② 国の議論に対する当局の認識と対応 (3) 支援体制及びメンタルケアについて ① 相談体制の整備 ② メンタルケア支援への取組 ③ 離職防止策 ④ 欠員地域への対応 (4) デジタル化による事務負担軽減について ① デジタル化に向けた取組状況 ② 電子化の対象業務 ③ デジタル化に向けた環境整備 (5) 処遇改善について ① 市独自支援の必要性に対する認識 ② 制度改正に向けた国への働きかけ	市長 関係部長

令和7年12月2日（火）午前10時から

順 番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
9	19番 片岡章一 *一括方式	1 地域共生社会の実現に向けた本市の取組について (1) 基本的なビジョン (2) 分野横断型の相談支援体制（重層的支援体制を含む。）の整備 (3) 地域の参加支援（居場所づくり・活動参加・社会参加）の推進 (4) 地域づくりに向けたネットワークと協働体制の構築 (5) 住民参加による支え合いの仕組みづくりと、多様な担い手育成 (6) 今後の取組 2 小中学校の不登校対策について (1) 現状と課題認識 (2) 校内フリースペース ① パイロット校での取組内容と課題 ② 今後の展開	市長 教育長 関係部長
10	9番 小泉宣子 *一括方式	1 学校教育について (1) 市内小中学校における校外学習について ① 校外学習の充実に対する認識 ② ラーケーション制度について ア 本市で導入した場合に考えられる効果と課題に対する認識 イ ラーケーション制度導入に対する認識 2 難病患者への支援について (1) 本市における難病患者の現状 (2) 難病患者の社会参加促進に対する認識 (3) 難病患者に対する公共施設利用料減免に対する認識 3 誰もが投票しやすい環境整備について (1) 郵便等による不在者投票の利用状況 (2) コミュニケーションボード及び投票支援カードの活用 (3) 投票用紙記入補助具の導入に対する認識	市長 教育長 選挙管理委員会委員長 関係部長

順 番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1 1	3 番 大 川 敬 太 郎 *一括方式	1 本市保有の資産・設備のさらなる活用について (1) 市有財産の利活用状況と課題 ① 市有財産の目的外使用・貸付け等の具体的な活用事例 ② 市有財産を平時活用するためのルールと手続 ③ 行政財産の用途廃止及び普通財産への引継ぎに係るルールと手続 (2) 災害用として整備された市有財産の平時における利活用の可能性 ① 農林水産業をはじめとした地域産業の振興や地域活性化に向けた活用策 ② 平時における利活用で得られる副次的な効果 ③ 平時における利活用をするための協定や保険加入等のリスク分担	市 長 教 育 長 関 係 部 長

令和7年12月2日（火）午後から

順 番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1 2	18番 山下 富美子 *複合方式	1 沼津市長期財政に関する試算の検証と今後の財政運営について (1) 沼津市長期財政に関する試算の検証と認識 ① 歳入及び歳出の主要な項目における検証と認識 ア 市税、地方交付税等の動向 イ 市債と公債費の動向 ウ 扶助費の動向 エ 投資的経費の動向 オ 特別会計及び企業会計への繰り出し ② 沼津市公共施設マネジメント計画との整合性の検証 ア 新中間処理施設や庁舎等の取組 (2) 外部環境の変化が今後の主要事業（鉄道高架事業等）に与える影響 ① 物価高騰 ② 人口減少 (3) 財政運営上の総合的な判断と今後の取組 ① 国の財政が本市に与える影響 ② 県の財政状況が本市に与える影響 ③ 健全財政を維持するための総合的な判断 ④ 今後の取組	市長 関係部長
1 3	1 番 川 口 慶 *一括方式	1 読書活動推進について (1) 書店業支援の認識 ① 書店業の現状と課題 ② 「書店活性化プラン」を踏まえた今後の対応 (2) 市立図書館の取組 ① 市立図書館における読書活動推進の意義と取組 ② 書店業と市立図書館との連携への考え (3) 本を活用したまちづくりの認識 2 小規模事業者の支援について (1) 事業者の現状や支援の状況 (2) 事業者のインボイス制度対応状況 (3) インボイス制度に対応する事業者支援の状況	市長 教育長 関係部長

順 番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1 4	11番 平 野 謙 *一問一答	1 本市の犯罪被害者等の支援について (1) 犯罪被害者等支援の現状 ① 市内における犯罪発生の状況 ア 刑法犯の認知件数、傾向 イ 本市の認識 ② 本市における相談体制 (2) 沼津市犯罪被害者等支援条例について ① 条例の内容 ア 目的、対象 イ 具体的な内容 ② 相談、情報の提供等の支援 ア 具体的な支援内容 イ 実績 ③ 見舞金制度 ア 対象、実績 イ 周知方法 ④ 居住の安定 ア 市営住宅の目的外使用ができる条件 (3) 加害者家族に対する支援 ① 加害者家族についての認識 ② 支援の必要性の認識 ③ 具体的な支援策 ④ 学校における児童生徒への配慮 (4) 犯罪被害者等支援に対する市民等の理解の促進 ① 具体的な取組	市長 教 育 長 関 係 部 長